

中部フィルハーモニー交響楽団 第75回定期演奏会 NAGOYAシリーズ2

Profile



秋山 和慶(指揮)

Kazuyoshi Akiyama, Conductor

1941年生まれ。森秀善のちとて指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ管楽監督、バンクーバー管楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース管楽監督などを歴任。また、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド響、シカゴ響、ケルン協奏、ベルリン協奏、北ドイツ協奏、スイス・ロマンディ管など世界の一流オーケストラに客演している。

これまでにワントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大塚共樹賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞、京都府音楽大賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小従章を受章。2014年文化功労者に選出。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を委ねられるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



阪田 知樹(ピアノ)

Tomoki Saketa, Piano

2016年フランチ・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、併せて6つの特別賞を受賞。

東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇メディア大学ソリスト課程ピアノ科に在籍。

第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて最年少入賞。第35回ビティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞受賞。

国内外問わず数多くの指揮者、オーケストラと共演を重ねるほか、室内楽者としても活躍。

2020年3月に世界初録音を含む交響曲、協奏曲、オペラ、自身の編曲による歌曲などピアノの復元に挑んだアルバムをリリース。

2017年従系文化賞文化・芸術奨励賞受賞。



中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

中部フィルハーモニー交響楽団は2000年に小牧市交響楽団として発足し、2007年に中部フィルハーモニー交響楽団と改名後、愛知、岐阜、三重の各県で中部圏の音楽文化振興を図るため、個性的なプログラムにより各地で定期的な公演を行い、地域に愛されるプロ交響楽団として活動を行っている。現在の芸術監督・首席指揮者は日本を代表する指揮者の一人秋山和慶。秋山は、2015年には創立15周年記念で大編成のマーラー「復活」を指揮し成功に導いている。2017年度からは2年間4回にわたる「ブラームス・ツィクルス」をスタートし、誠実かつ熱のこもった演奏を行い好評を博した。

その時のライブ演奏は「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」で世界に配信されている。2021年度からは定期演奏会をNAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ3回の計6回実施し、1人の作曲家にフォーカスしたプログラムが目目されている。また2018年10月には名古屋フィルハーモニー交響楽団第461回定期演奏会にてマーラー作曲「千人の交響曲」に出演し、名フィルとともに貴重な演奏を聴かせた。

受賞歴としては、愛知県芸術文化奨励新人賞等を受賞。2017年12月に「多年にわたり地方自治の発展に尽力されその功績は誠に大である」として愛知県知事より感謝状を授与された。

2020年4月から首席客演指揮者に新着範程を迎え、さらなる飛躍を目指す。本拠地は愛知県小牧市。

アクセス ACCESS

三井住友海上しらかわホール

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
TEL. 052-222-7110

定観でお越しの場合

●名古屋駅地下鉄東山線・桜通線
「伏見」駅5番出口から徒歩5分

次回演奏会のご案内

中部フィルハーモニー交響楽団創立20周年記念コンサート 2021年8月7日(土)開演14:30 愛知県芸術劇場コンサートホール



指揮: 秋山和慶 ワイオリン: 竹澤恭子 オルガン: 都築由理江

ショスタコーヴィチ: 祝典序曲 作品96
チャイコフスキー: ワイオリン協奏曲 第二番 作品35
サン＝サーンス: 交響曲第3番 ハ長調 作品78 (オルガン付き)

【全席指定】セレクトプラチナ席 ¥7,500 プラチナ席 ¥6,500
S席 ¥5,500 A席 ¥4,500 B席 ¥3,500 C席 ¥2,500

一般発売 4/14(水) 中部フィルサブナー・フレンズ先行予約 3/31(土)~4/6(火)